

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

創立35周年、記録と記憶を紡ぐアーカイブ

● ニューヨーク学院 (高等部) 主事 山本富夫 やまもと とみお

1990年に設立された慶應義塾ニューヨーク学院は、本年度35周年を迎える。慶應義塾全体の歴史や伝統と比較するとまだまだ若い存在ではあるが、この35周年を機に「歴史を振り返り、未来へつなぐ」アーカイブプロジェクトを始動した。35歳の若い学校だからこそできる、小回りの利いたアーカイブを目標としている。

本校では、アーカイブ担当の委員会を設置し、創立当初からの資料や記録を整理、集約する作業を開始した。これまで各部署や時には個人が所有していて、散在していた文書や写真、さまざまな記録媒体を集め直し、デジタルと紙媒体の両面で保存を試みている。記録の中には、学生の落書きや教員のメモ書きといった一見些細なものも含まれているが、そうした資料こそが



イヤーブックの在庫整理中に発見された品々

当時の雰囲気映す貴重な証拠であり、その「息遣い」をいかに未来へ伝えるかが問われている。さらに、資料を集めるだけでなく、展示の方法によってその背景や意図をいかに表現するかという方法論も重要である。創立以来変わらず受け継がれてきたものもあれば、時代とともに評価が変化してきたものもある。それらを公平かつ等

しく記録することが、後世に真実の歴史を伝える基盤となる。

また、歴史を振り返るだけでなく、今後の記録をいかに体系的に残していくかという視点も欠かせない。25周年の際には、当時の先生方のご尽力により立派な冊子が作成されたが、35周年を迎えた今、必要とされるのはその都度の回顧にとどまらない永続的な歴史を積み重ね続ける仕組みづくりである。人の手による収集に頼るのではなく、自動的に記録が蓄積されていくようなシステムを構築し、運用することが、本校が自らの歩みを確認し、次の世代へと橋渡しする重要な方法論となるだろう。

創立から35年が経ち、卒業生はすでに3000名を超えた。ニューヨークという多様性あふれる土地で学び舎を築いてきた本校は、これからも新たな歴史を積み重ねていく。その過程で、過去を正しく記録し、未来の生徒や関係者が自由に触れられる形にしていくことが求められる。歴史とは単なる記録ではなく、生きた知恵と文化の蓄積である。35周年を迎えた今、慶應義塾ニューヨーク学院は、50周年、さらにその先へとつながっていく第一歩を踏み出した。